

教育課程概念図 (経営学部 スポーツマネジメント学科)

ディプロマ・ポリシー

教育目的

大阪成蹊学園の建学の精神「桃李不言下自成蹊」および行動指針「忠恕」に基づき、本学科は、現代の社会・経済・経営・情報環境の下で求められる「ビジネス（業務の設計と運用）とマネジメント（経営資源の管理と活用）及び情報処理に関する基礎的能力とスキル」及び「コミュニケーションに関する基礎的能力とスキル」を修得し、企業・組織の中で自分自身の役割を認識し、自分なりの考え方をもち、他人と協働しながら、現代の多様な経営課題の解決に貢献できる「人間力」を備えた人材を育成します。

確かな専門性

1. スポーツ産業におけるマネジメント（経営資源の管理と活用）およびビジネス（業務の設計と運用）の仕組みを理解できる。
2. スポーツ産業における組織・企業活動の職務を遂行するために必要な専門知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発）を身につけ、職務に係る問題解決のために専門知識、技能を応用できる。
 - (1) 企画・運営：事業体の経営に対して実証的な裏付けのある見解を持つことができる。
 - (2) 会計：資金の流れを把握し、経済活動の結果を貨幣を単位として記録、計算、管理することができる。
 - (3) 流通：流通過程を設計し、問題解決に資することができる。
 - (4) 商品企画開発：顧客のニーズを把握し、満足度の高い商品を提案できる。
 - (5) 社会貢献：社会の潮流を見極め貢献できる実践力を身につける。
3. スポーツ産業における事業体の環境適応性を理解し、適切に組織化し、システムを有効に活用し、顧客に対するサービスの品質を維持・向上させることができる。

社会で実践する力

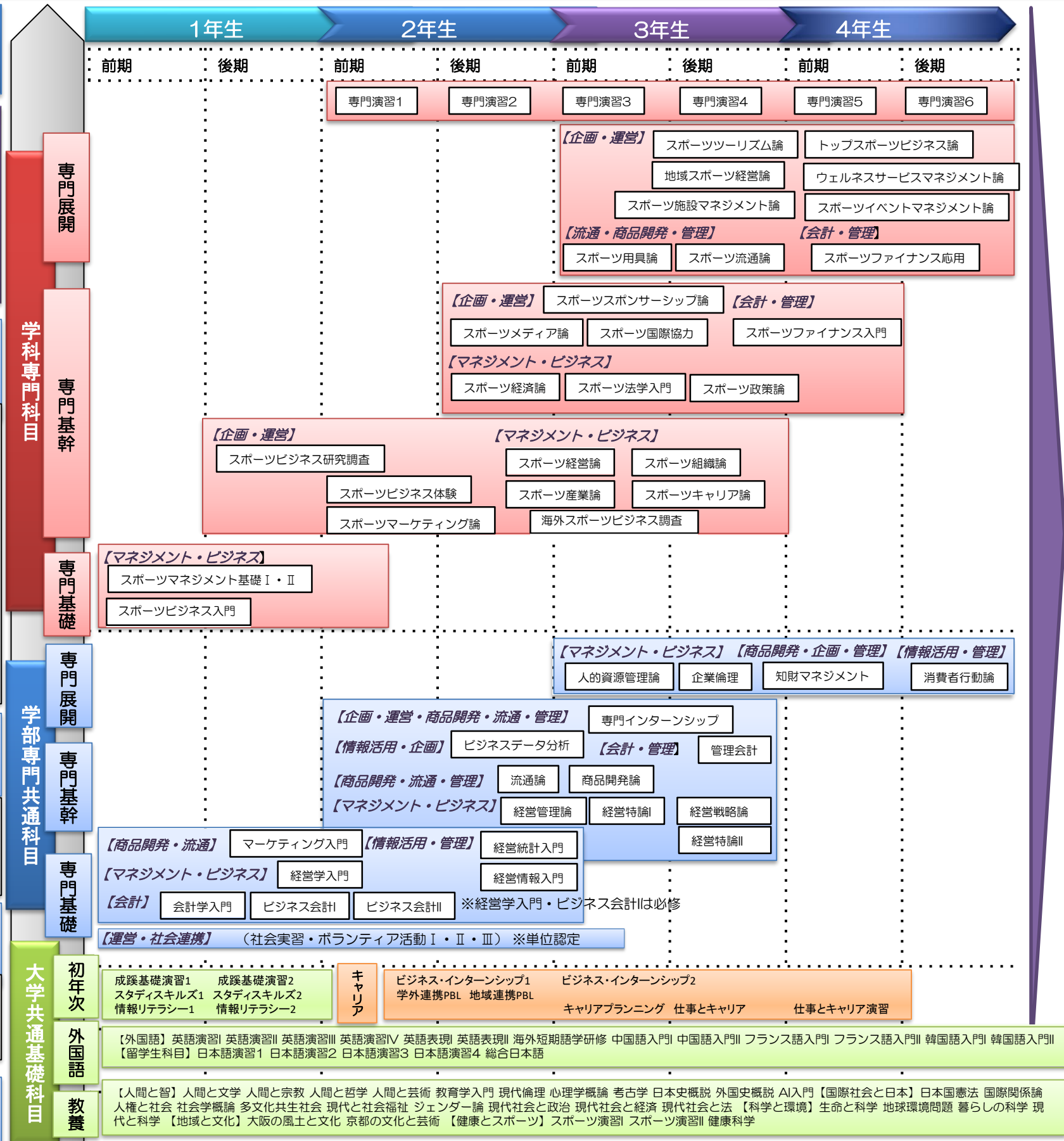
4. 課題発見にあたり、必要な情報を収集・分析・活用する。
5. 課題解決に向けて方策を企画・立案することができる。
6. 課題解決に主体的に取り組む意欲を持ち続け、積極的にかかわることができる。
7. 諦めずに、最後までやり遂げることができる。

協働できる素質

8. 自己の意見を正確に伝える、他者の意見を聴くなどのコミュニケーションができる。
9. 社会や企業・組織の中で、協調、協働でき、役割を果たすことができる。

忠恕の心

10. 常に誠をつくし、ひとの立場に立って、考え行動することができる。



桃李成蹊人

「人間力」育成【建学の精神】→桃李不言下自成蹊【行動指針】→忠恕(夫子の道は忠恕のみ)